

大学自己評価部会だより

第30号 (平成24年11月)

本学に、入学者受入方針(アドミッションポリシー)に加え、教育課程編成・実施方針(カリキュラムポリシー)と学位授与方針(ディプロマポリシー)が定められました。今回はカリキュラムポリシーを掲載します。

■ 歯学科

- (1) 医療人として具備すべき、倫理観やコミュニケーション能力を涵養するため、充実した人文科学系科目・社会科学系科目を設置する。
- (2) 医療の国際化・国際社会への貢献のために必要な外国語能力を養成するため、外国語教育科目を設置する。
- (3) 歯科保健医療の高度な専門知識・技能を養成するため、専門基礎分野および専門臨床分野科目を設置する。
- (4) 口腔の健康と全身の健康との関連性を理解する能力を養成するため、一般基礎分野および隣接医学分野科目を設置する。
- (5) 課題探求能力・問題解決能力・研究能力・コミュニケーション能力など、医療人として必要な能力を育成するため、チューリリアル教育・研究室配属などの教育を行う。
- (6) 医療人として必要な科学的思考を涵養するため、学際領域と関わりの深い教育を行う。

■ 口腔保健学科

- (1) 社会人・医療人が享有すべきコミュニケーション能力を涵養するため、充実した自然科学系、人文科学系および外国語系科目を設置する。
- (2) 口腔機能に関する専門的知識を活かし、歯科衛生士として就労するために必要な専門基礎分野および専門分野に関する科目を設置する。
- (3) 保健・医療・福祉の分野と連携できる人材を育成するため、医学・看護学一般、先進医療、先進歯科医療、食育と栄養、摂食嚥下支援に関する科目を設置する。
- (4) さまざまな職域の健康の維持増進に寄与できるよう、第1種衛生管理者資格の取得に必要な科目を設置する。
- (5) 医療人として必要な科学的思考を涵養するため、学際領域と関わりの深い教育を行う。

アンケートの調査結果を報告します

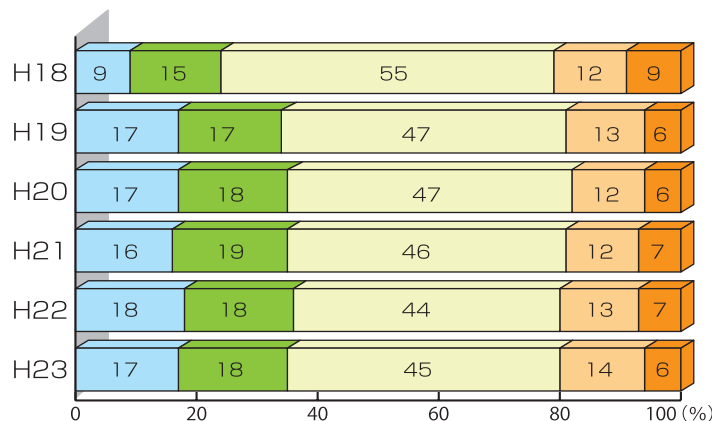
学生のニーズの把握、心身の健康に関する相談室の認知度および自主学習時間に関する状況について、平成18年度～平成23年度の6年間を比較しました。

① 学生のニーズの把握

平成19年度以降、一定して約35%が「把握しているとは思っていない」と回答しています。



本学として、生活面での皆さんのニーズを適切に把握していると思えますか。

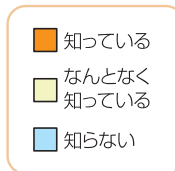
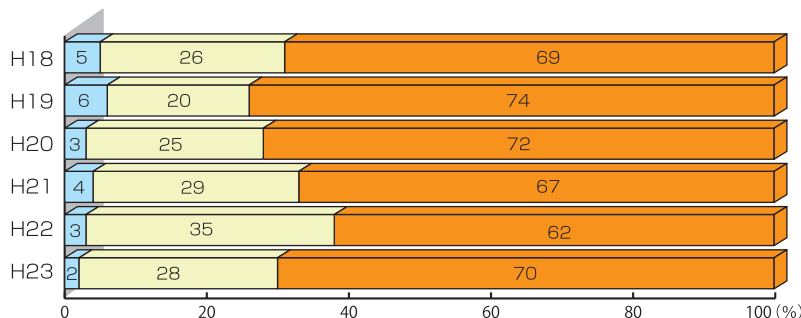


- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

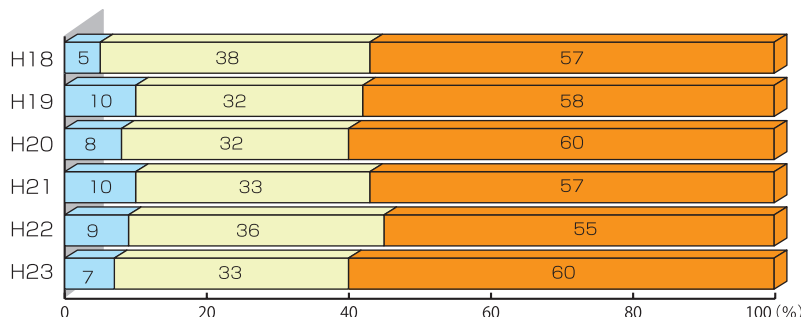
②健康に関する相談室の認知度

健康管理室とカウンセリング・ルームの認知度は93%～98%に達し、「知らない」人が次第に減少してきています。なお、平成23年度に1回以上利用した人は、健康管理室が40%、カウンセリング・ルームが18%でした。

本学に健康管理室があるのを知っていますか。



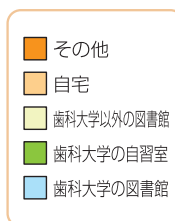
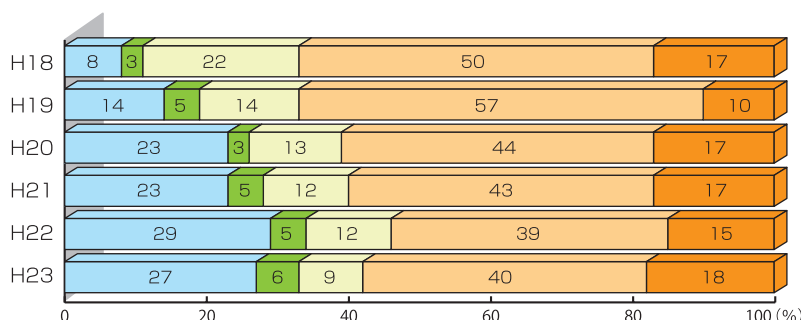
本学にカウンセリング・ルームがあるのを知っていますか。



③自主学習

本学の図書館の利用率は伸びず、30%弱で止まりました。自習室が伸びず、自宅学習者が多い傾向にあります。学習時間は、1日に1時間未満の割合が減少傾向にありましたが、今回は増加に転じました。

土日・祝祭日など、大学が休みの時の自主学習は主にどこを利用しますか。



試験勉強を除くあなたの自主学習時間は、1日平均何時間ですか。

